

小学6年 算数 — 解答と解説

1

(1)	(2)	(3)
73	6.5	$\frac{1}{2}$
21	22	23
(4)	(5)	(6)
1.78	$\frac{69}{100}$	45
24	25	26

2

(1)	(2)	(3)
4080 円	105	27
27	28	29
(4)	(5)	(6)
14.13 cm^2	251.2 cm^3	時速 4.8 km
30	31	32

3

(1)	(2)
ア 12 (枚)	イ 128 (枚)
33	34
(3)	
12 番目	
35	
36	

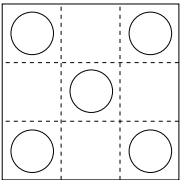
4

(1)	(2)	(3)
1 : 9	1 : 26	75.36 cm^2
(完答) 37	(完答) 38	39

5

(1)	(2)
27 人	168 個
40	41

6

(1)	(2)	(3)
 4 畳半	18 通り	16 通り
(完答) 42	43	44

7

(1)	(2)	(3)
16 cm	1 : 4	16 : 17
45	(完答) 46	(完答) 47

8

(1)	(2)	(3)
15.6 %	3 回	2 分 20 秒後
48	49	(完答) 50

下にある「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。これらの思考スキルは、算数の問題に限らず、さまざまな場面でも活用することができる大切な力です。解説では、問題ごとに意識してほしい思考スキルを示しています。今後の学習でも、思考スキルを意識して、問題に取り組むとき活用するように心がけてみましょう。

思考スキル

○じょうほう情報を獲得するかくとく

- ・問題文から必要な情報や条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから必要な情報を正しくとらえる

○情報を活用する

- ・問題からとらえた情報を、他の問題でも活用する
- ・とらえた情報から、さらに別の情報を引き出す
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・持っている知識を状況に応じて正しく運用する
- ・問題の指示通りの操作を正しく行う

○置きかえる

- ・状況を図やグラフなどに表す
- ・問いを別の形に言いかえる
- ・未知のものを自分にとってなじみの形にする
- ・比の値を具体数で表す
- ・数値をあてはめて、特定の状況をとらえる
- ・解答の範囲や大きさを予測する

○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、きまりを見つける

○順序立てて変化をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに筋道立てて明らかにする

○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえる

○してん視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面としてとらえる
- ・多角的な視点から対象をとらえる

○たいてい特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・規則や周期に注目する
- ・対称性に注目する
- ・際立った部分(計算式の数、素数、約数、平方数、…など)に注目する

○特定の状況を仮定する

- ・極端な場合から考える(もし、全て…なら)
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のもののだけを移動させて状況をとらえる

【解 説】

① (2) **A2** 再現する

$$\begin{aligned} & 0.065 \times 77 + 2.3 \times 0.65 \\ &= 0.65 \times 7.7 + 2.3 \times 0.65 \\ &= 0.65 \times (7.7 + 2.3) \\ &= 0.65 \times 10 \\ &= \underline{6.5} \end{aligned}$$

② (1) **A1** 再現する

わりあい
(割合)

102% → 1.02より、4000円の1.02倍を求めます。
 $4000 \times 1.02 = \underline{4080}$ (円)

(2) **A2** 再現する

(倍数と余り)

$100 \div 13 = 7$ 余り 9 より、 $100 - 9 + 1 = 92$ と $92 + 13 = 105$ の 2 つの数を比べます。このうち、
 100に近い方は 105 です。

(3) **A2** 視点を変える

(公約数と公倍数)

右の図より、 $9 \times \square \times 4 = 108$ とわかるので、
 $\square = 108 \div 4 \div 9 = 3$ です。
 よって、 $A = \square \times 9 = 3 \times 9 = \underline{27}$ です。

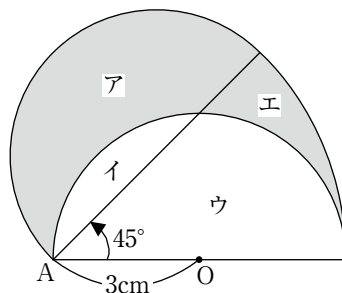
$$\begin{array}{r} 9 \overline{) A \quad 36} \\ \underline{\square \quad 4} \quad \leftarrow \\ \text{積が} \\ \text{最小公倍数} \end{array}$$

(4) **A2** 再現する

(図形の回転)

右の図のように、ア～エとします。
 「ア＋イ」の半円と「イ＋ウ」の半円の面積は等しいので、アとウの面積は等しいことがわかります。
 よって、影をつけた部分の面積は「ウ＋エ」の扇形の面積と等しくなります。

$$(3 \times 2) \times (3 \times 2) \times 3.14 \times \frac{45}{360} = \underline{14.13} \text{ (cm}^2\text{)}$$



(参考) 右の図より、図形全体の面積は、(半径 3 cm の半円の面積) + (扇形 ABB' の面積) で求められます。

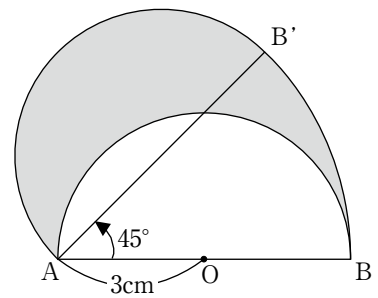
白い部分の面積は(半径 3 cm の半円の面積)なので、

(影をつけた部分の面積)

= (図形全体の面積) - (白い部分の面積)

= (半径 3 cm の半円の面積) + (扇形 ABB' の面積) - (半径 3 cm の半円の面積)

= (扇形 ABB' の面積) となります。



(5) **A2** 特徴的な部分に着目する

(展開図)

この立体は、半円の面を底面とする高さが 10 cm の柱体です。

$8 \div 2 = 4$ (cm) ……半円の半径

$4 \times 4 \times 3.14 \times \frac{1}{2} \times 10 = 251.2$ (cm³)

(6) **A2** 再現する

(平均の速さ)

片道の道のりを 1 とします。

$1 \div 6 + 1 \div 4 = \frac{5}{12}$ ……往復にかかった時間

$1 \times 2 \div \frac{5}{12} = 4.8$ (km / 時)

(別解) 片道の道のりを 12 km (6 と 4 の最小公倍数) とします。

$12 \div 6 + 12 \div 4 = 5$ (時間) ……往復にかかった時間

$12 \times 2 \div 5 = 4.8$ (km / 時)

③ **ほうじんざん**
(方陣算)

中空方陣では、「全体」を同じ個数ごとの「部分」の集まりとしてとらえることができます。図に区切りをかきこむなどして、「1 辺に並ぶコインの枚数」や「番目」と「1 つの部分に並ぶ枚数」の関係を確かめて解き進めましょう。

(1) **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に着目する

問題の表より、「一番外側の正方形の 1 列の枚数」は 3 ずつ増えていることがわかります。

よって、アは $9 + 3 = 12$ (枚) です。

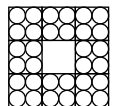
右の図のように、真ん中の空いている部分と同じ形に区切ると、(番目の数) $\times$ (番目の数) $\times 8$ で全体の枚数が求められることがわかります。

よって、イは $4 \times 4 \times 8 = 128$ (枚) です。

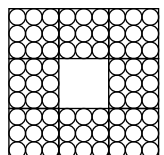
1 番目



2 番目



3 番目



(イの別解1)

右の図のように、4つの部分に区切ることもできます。

1番目→1つの部分は 1×2 (枚) なので、全体の枚数は、

$$1 \times 2 \times 4 = 8 \text{ (枚)}$$

2番目→1つの部分は 2×4 (枚) なので、全体の枚数は、

$$2 \times 4 \times 4 = 32 \text{ (枚)}$$

3番目→1つの部分は 3×6 (枚) なので、全体の枚数は、

$$3 \times 6 \times 4 = 72 \text{ (枚)}$$

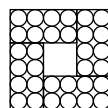
4番目→1つの部分は 4×8 (枚) なので、全体の枚数は、

$$4 \times 8 \times 4 = \underline{128} \text{ (枚)}$$

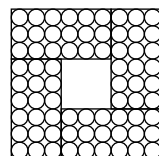
1番目



2番目



3番目



(イの別解2)

一番外側のコインの枚数を利用して考えることもできます。

中実方陣から真ん中のすきまの中実方陣をひけば全部のコインの枚数になると考えます。

例えば、

1番目の図であれば $3 \times 3 - 1 \times 1 = 8$ (枚)、

2番目の図であれば $6 \times 6 - 2 \times 2 = 32$ (枚)、

3番目の図であれば $9 \times 9 - 3 \times 3 = 72$ (枚)

となります。

よって、イは $12 \times 12 - 4 \times 4 = \underline{128}$ (枚) です。

(2) **B1** 情報を獲得する 一般化する

(1)を利用して考えます。全部のコインの枚数は(番目の数)×(番目の数)×8で求められます。

$$10 \times 10 \times 8 = \underline{800} \text{ (枚)}$$

(別解1)

(1)の(イの別解1)を利用します。

n番目の図を4つに区切ると、その1つの部分には $n \times (n \times 2)$ 枚並ぶことがわかります。

よって、10番目に並ぶコインは、 $10 \times (10 \times 2) \times 4 = \underline{800}$ (枚)

(別解2)

(1)の(イの別解2)を利用しても求めることができます。

10番目の図の一番外側のコインの枚数は $3 \times 10 = 30$ (枚) です。

真ん中のすきまの正方形は1辺がコイン10枚の大きさです。

よって、 $30 \times 30 - 10 \times 10 = \underline{800}$ (枚) です。

(3) **B1** 調べる 一般化する

$\square \times \square \times 8$ が1000を超えるので、 $\square \times \square$ が $1000 \div 8 = 125$ より大きくなればよいことがわ

かります。調べてみると、 $11 \times 11 = 121$ 、 $12 \times 12 = 144$ より、12番目のときに1000を超えることがわかります。

(参考) 11番目のときは、 $11 \times 11 \times 8 = 968$ (枚)、12番目のときは、 $12 \times 12 \times 8 = 1152$ (枚)となり、正しいことがわかります。

④ (体積比)

立体図形の問題で条件に比が使われているときは、平面図形で比を利用したときのことと結びつけてみましょう。また、式の中に円周率がある場合、計算する順番を工夫するなどして、計算の手間を減らすことに目を向けましょう。

(1) A2 再現する

「Aの円すい」と「もとの円すい」は相似で、相似比は、 $5 : (5+10) = 1 : 3$ です。

$$(1 \times 1) : (3 \times 3) = 1 : 9$$

(2) B1 情報を獲得する 再現する

相似な立体の相似比が $a : b$ のとき、体積比は $(a \times a \times a) : (b \times b \times b)$ となります。

$(1 \times 1 \times 1) : (3 \times 3 \times 3) = 1 : 27 \cdots \cdots$ 「Aの円すい」と「もとの円すい」の体積比
よって、AとBの体積比は、 $1 : (27-1) = 1 : 26$ です。

(3) B1 情報を獲得する 再現する

円すいの展開図では、「 $\frac{\text{側面の中心角}}{360} = \frac{\text{底面の半径}}{\text{母線}}$ 」という関係が成り立ちます。

Aの円すいの底面の半径は $9 \times \frac{1}{3} = 3$ (cm)、母線は5 cmです。

$$3 \times 3 \times 3.14 + 5 \times 5 \times 3.14 \times \frac{3}{5} = 75.36 \text{ (cm}^2\text{)}$$

⑤ (過不足算)

この問題は、過不足算の考え方に加え、数値どうしの大きさのちがいにも目を向ける必要があります。問題に書かれている条件だけでは先に進まないと感じたならば、問題文中にある数値どうしの大きさの関係をとらえようとしたかどうかをふり返っておきましょう。

(1) B1 情報を獲得する 順序立てて変化をとらえる

Aとイを比べると、 $6-5=8-7=1$ (個)より、Aの配り方で配った後、さらに1人1個ずつ追加して配る配り方がイの配り方とわかります。

よって、小学生と中学生の全員に1人1個ずつキャンディーを配ったとすると、キャンディーは全部で $15+12=27$ (個) 必要なことがわかります。

$$27 \div 1 = 27 \text{ (人)}$$

(2) B1 置きかえる 特徴的な部分に注目する

Aとウを比べると、Aの配り方の「小学生に配る個数」と「中学生に配る個数」を入れかえたものが、ウの配り方となっています。

ウの配りの方が個数を要するので、小学生の方が人数が多いことがわかります。また、アとウでは、配るのに必要なキャンディーの個数の差は $15+3=18$ (個)です。

ア	小学生	5 5 …… 5	5 … 5
	中学生	7 7 …… 7	↑ 差18個
ウ	小学生	7 7 …… 7	7 … 7
	中学生	5 5 …… 5	

アとウでは、小学生1人あたりに配る個数の差は $7-5=2$ (個)です。

よって、小学生と中学生の人数の差は $18 \div 2 = 9$ (人)とわかります。

このことと、(1)の結果から和差算の考え方が利用できます。

$(27+9) \div 2 = 18$ (人) ……小学生の人数

$27-18=9$ (人) ……中学生の人数

よって、キャンディーの個数は、 $5 \times 18 + 7 \times 9 + 15 = 168$ (個)です。

(別解)

キャンディーの個数を2倍にすると、アとウの両方の配り方ができます。このとき、小中学生ともに、1人に $5+7=12$ (個)ずつ配ると、キャンディーは $15-3=12$ (個)余ります。

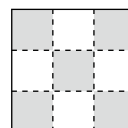
$(12 \times 27 + 12) \div 2 = 168$ (個)

6 (平面図形と場合の数)

設問の流れを意識して、場合分けして考えることが必要な問題です。実際に場合の数を調べるときは、図形の向きや、置く場所などに着目して、かぞえもれや重複をふせぐことが大切です。どのような工夫ができるのかを考え続けていきましょう。

(1) B1 情報を獲得する 調べる

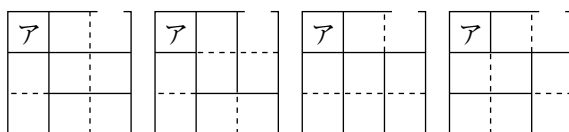
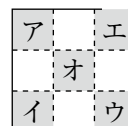
右のように影をつけると、影のついた方眼は影のついていない方眼よりも1つ多いことがわかります。1畳の畳はどれも必ず影のつく方眼1つと影のつかない方眼1つの上に敷くことになります。つまり、半畳の畳は多い方、影のつく方眼のところに敷くことになります。



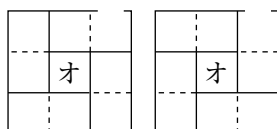
(2) B1 調べる 特徴的な部分に注目する

右のように半畳の畳を敷くところをア～オとします。

アに半畳の畳を敷く場合は次の4通りあり、イ、ウ、エに半畳の畳を敷く場合も同様に4通りずつあります。



また、オに半畳の畳を敷く場合は下の2通りがあります。



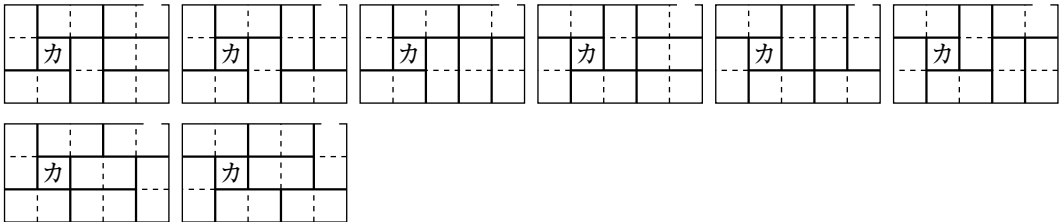
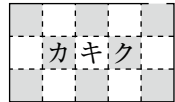
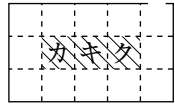
よって、 $4 \times 4 + 2 = 18$ (通り) です。

(3) **B2 調べる 特徴的な部分に注目する 置きかえる**

右のように斜線^{しやせん}のついた部分をカ〜クとします。

(1)と同様に考え、右のように影をつけると、キに半畳の畳を敷くことができないことがわかります。

カに半畳の畳をしく場合は次の8通りあり、クに半畳の畳を敷く場合も同様に8通りあります。



よって、 $8 \times 2 = 16$ (通り) です。

(参考)

カに半畳の畳を敷く場合、カの左・上・下には右の図のような2通りの敷き方しかありません。どちらの場合も、残った部分は(2)で考えた「アに半畳の畳を敷く場合」と同じ形なので、4通りずつあることがわかります。



よって、カに半畳の畳を敷く場合は $4 \times 2 = 8$ (通り) と求められます。

⑦ (相似と面積の比)

図形の比の問題では、「相似な図形に着目する」と「高さが等しい三角形に着目する」という2つの視点が大切です。この問題に取り組んだとき、どちらの視点をどの問いで用いていたのかを確認しておきましょう。

(1) **B1 情報を獲得する**

台形ABCDの面積がAEで2等分されることから、ADとBCの長さの合計も2等分されます。

よって、BEの長さは $(12 + 20) \div 2 = 16$ (cm) となります。

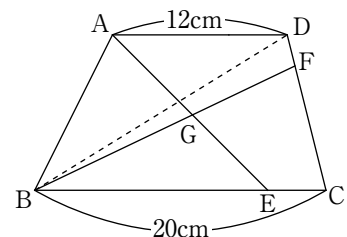
(2) **B2 情報を獲得する 視点を変える 特徴的な部分に注目する**

右の図のように、BとDを直線で結びます。

AD : BC = 12 : 20 = 3 : 5 より、三角形ABDの面積を③、
三角形BCDの面積を⑤とします。

$(③ + ⑤) \div 2 = ④$

……三角形BCFの面積 (= 四角形ABFDの面積)



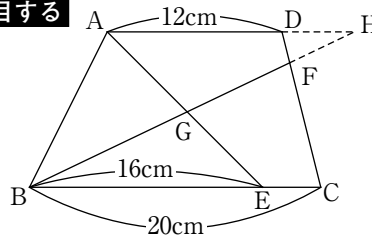
⑤－④＝①……三角形BFDの面積

よって、三角形BFDと三角形BCFの面積比が①：④＝1：4となるので、 $DF：FC=1：4$ です。

(3) **B2** 情報を獲得する 視点をを変える 特徴的な部分に注目する

右の図のようにADとBFをそれぞれ延長し、その交点をHとします。

三角形HDFと三角形BCFは相似で、相似比は
 $DF：CF=1：4$ なので、DHの長さは $20 \times \frac{1}{4} = 5$ (cm)です。

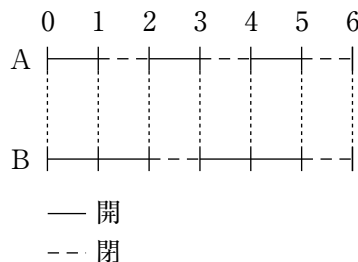


また、三角形HAGと三角形BEGは相似で、相似比は $HA：BE=(12+5)：16=17：16$ なので、 $AG：GE=17：16$ です。よって、三角形ABGと三角形BEGの面積比が17：16です。さらに、三角形ABEと三角形BCFの面積はどちらも台形ABCDの半分なので、三角形ABGと四角形GECFの面積も等しいことがわかります。同様に考えると、三角形BEGと四角形AGFDの面積は等しいことがわかります。よって、四角形AGFDとGECFの面積比は 16：17です。

⑧ (濃度と周期)

濃度の問題では、具体量のまま考えを進める場合と、量を比としてとらえることで考えを進める場合があります。それぞれの方法の長所を確認しておきましょう。(3)では、面積図の性質を用いることで、濃度の関係を長さの比でとらえることができます。

初めの6分間のA、B 2つの管の開閉の様子は、右の図のようになります。



(1) **B1** 情報を獲得する

図より、A管から $200 \times 3 = 600$ (g)、B管から $100 \times 4 = 400$ (g)の食塩水を、水そうに入れたことがわかります。

$$(600 \times 0.24 + 400 \times 0.03) \div (600 + 400) \times 100 = 15.6 (\%)$$

(2) **B2** 情報を獲得する 調べる 順序立てて変化をとらえる

1分ごとの食塩水の濃度を調べます。

・ 1分後

図より、A管から200g、B管から100gの食塩水を、水そうに入れたことがわかります。

$$(200 \times 0.24 + 100 \times 0.03) \div (200 + 100) \times 100 = 17 (\%)$$

・ 2分後

図より、A管から200g、B管から $100 \times 2 = 200$ (g)の食塩水を、水そうに入れたことが

わかります。

$$(200 \times 0.24 + 200 \times 0.03) \div (200 + 200) \times 100 = 13.5 (\%)$$

・ 3 分後

図より、A管から $200 \times 2 = 400$ (g)、B管から $100 \times 2 = 200$ (g) の食塩水を、水そうに入れたことがわかります。

$$(400 \times 0.24 + 200 \times 0.03) \div (400 + 200) \times 100 = 17 (\%)$$

・ 4 分後

図より、A管から $200 \times 2 = 400$ (g)、B管から $100 \times 3 = 300$ (g) の食塩水を、水そうに入れたことがわかります。

$$(400 \times 0.24 + 300 \times 0.03) \div (400 + 300) \times 100 = 15 (\%)$$

・ 5 分後

図より、6 分後と同じ濃度であることがわかります。よって、(1)より15.6%です。

よって、濃度が15%になるのは、1 分後と 2 分後の間に 1 回、2 分後と 3 分後の間に 1 回、4 分後に 1 回、合計 3 回です。

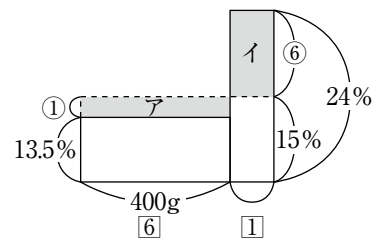
(3) **B2** 情報を獲得する 調べる 順序立てて変化をとらえる

2 回目に15%になるのは、2 分後と 3 分後の間です。「2 分後の水そう内の13.5%の食塩水」400g(=200+200)と「A管から出る24%の食塩水」を混ぜて、水そう内の食塩水の濃度が15%になった様子を、次のような面積図に表します。

$$(15 - 13.5) : (24 - 15) = \textcircled{1} : \textcircled{6} \cdots \cdots \text{アとイのたての比}$$

アとイの面積は等しいので、アとイの横の比は $\textcircled{6} : \textcircled{1}$ です。

よって、A管から $400 \times \frac{1}{6} = 66\frac{2}{3}$ (g) 入れたとき、濃度が 2 回目に15%になります。
 $2 + 66\frac{2}{3} \div 200 = 2\frac{1}{3}$ (分後) より、2 分20秒後です。



小学6年 社会 — 解答と解説

1

問 1					問 2		問 3	
A	エ	C	力	F	ウ	イ	ア	
21		22			23		24	25
問 4								
大 津 (市)								
26								

2

問 1					問 2		問 3	
エ → ア → イ → ウ					ウ		ア	
27					28		29	
問 4				問 5				
天 皇				イ				
30				31				
問 6								
日本の大都市がアメリカの空襲をうけるようになった								
子供たちを危険から守るため。								
問 7								
念仏や座禅はいつでも誰でも簡単に実行できる教えだ								
問 8								
問 9		問 10		問 11				
オ		領 事 裁 判 権		ウ		勘 合 (かんごう)		
34		35		36		37		
問 12				問 13				
エ				イ				
38				39				

3

問1	問2	問3	問4
議院内閣 (ぎいんないかく) (制)	文 民	過半数(かはんすう)	力
40	41	42	43
問5	問6	問7	
ア	政令(せいれい)	(1) 総辞職(そうじしょく)	(2) エ
44	45	46	47
問8	問9		
(1) イ (2) ウ	ア (と) エ		
48	49	50	

4

問1	問2	問3	問4
国民主権(こくみんしゅけん)	象徴(しょうちょう)	ア	エ
51	52	53	54
問5	問6	問7	問8
法	イ	生存(せいぞん) (権)	労働基準(ろうどうきじゅん) (法)
55	56	57	58
問9	問10		
兵役(へいえき)(の義務)	(1) A (2) 衆議院(しゅうぎいん) (の) 優越(ゆうえつ)		
59	60		61
問11	問12		
ウ	(満) 18 (歳以上)		
62	63		
問13			
(1) 日照(にっしょう) (権)	(2) ウ	(3) プライバシー (の権利)	
64	65	66	

(配点)

2 問6・問7 各4点

4 問1・問8・問13(1)・(3) 各3点

上記以外 各2点 計100点

【解 説】

① 日本の都市に関する問題

まず最初にA～Fの都市を確定します。

Aは青森県八戸市、Bは京都府京都市、Cは愛知県豊田市、Dは山口県宇部市、Eは沖縄県那覇市、Fは広島県広島市です。

問1 A2 想起 カテゴリー

Aの八戸港の2015年の水揚げ量は、銚子港、焼津港、釧路港、境港に次ぐ約11万1千トンです。Cの豊田市は自動車工業を中心とする機械工業が盛んです。Fの広島市には世界遺産に登録されている原爆ドームがあります。

問2 A2 変換 想起

山口県宇部市では、美祢市周辺で採掘された石灰石を使ったセメント工業が盛んです。

問3 A2 変換 想起

Aは南西諸島の気候の特色を示す那覇、イは瀬戸内の気候の特色を示す高松、ウは日本海側の気候の特色を示す福井、エは太平洋側の気候の特色を示す横浜の雨温図です。

問4 A2 変換 想起

京都市は市域の一部が滋賀県大津市と隣接しています。県庁所在地の市域が隣接している市には他に、宮城県仙台市と山形県山形市、福岡県福岡市と佐賀県佐賀市があります。

② 日本の歴史に関する問題

問1 A2 想起 カテゴリー

Aは1808年、イは1825年、ウは1839年に起きたできごとです。エのイギリスでワットが蒸気機関を改良したことなどからイギリスで産業革命が起きましたが、それが18世紀後半頃のことです。19世紀には他のヨーロッパ諸国でも産業革命が起り、

この結果ヨーロッパ各国がアジアなどに進出してくるようになりました。このような中で日本にも外国船がたびたび出現するようになりました。

問2 A2 想起 カテゴリー

間宮林蔵は1808年に江戸幕府の命令により樺太を探検し、樺太が島であることを確認しました。さらにシベリアのアムール川下流地域も探査しました。伊能忠敬は蝦夷地を含む日本全国を測量し、正確な地図を作成しました。近藤重蔵は幕府に命じられて択捉島を探検した人物、青木昆陽は徳川吉宗に命じられてさつまいも栽培の研究を行った人物です。

問3 A2 想起 カテゴリー

渡来人とは4世紀ころからおもに朝鮮半島から日本に移り住んだ人々のことです。渡来人により土木工事や養蚕・機織り、すえ器を焼く技術などが日本に伝えられました。Aは鎌倉時代から広まった技術です。

問4 A1 想起

大和地方の諸豪族による政権を大和政権といい、その中心が大王です。当初は王と呼ばれていましたが、5世紀頃より大王と呼ばれるようになり、7世紀後半の天武天皇の頃から天皇と呼ばれるようになりました。

問5 A2 想起 カテゴリー

旧石器時代の石器は、主として石を打ち欠いてつくった打製石器です。縄文時代になると、石を磨いてつくった磨製石器が広まりました。黒曜石は打製石器を製作するのに使用された黒色でガラス質の岩石で、長野県和田峠や熊本県阿蘇山などで産出されていました。

問6 B2 想起 変換 理由・根拠

1942年頃からアメリカ軍による本土への空襲が始まり、1944年頃から激化した

ため、政府は大都市の国民学校初等科の3年から6年までの児童の集団疎開を実施しました。

問7 **B2** 想起 理由・根拠 立証

鎌倉時代には戦乱が相次ぎ、その中から新しい仏教が生まれました。この時代に生まれた仏教は、厳しい修行などを必要とせずひたすら座禅するなど分かりやすいものであったため、武士や民衆の間に広がっていきました。

問8 **A2** 想起 カテゴリーズ

臨済宗は栄西、浄土真宗は親鸞が鎌倉時代に開いた宗派です。

問9 **A1** 想起

日英修好通商条約では、領事裁判権が認められていて外国人を日本の法律で裁くことが認められていない、日本にとって不平等な条約でした。明治政府は条約改正に大変苦労し、領事裁判権が廃止されたのは1894年のことでした。

問10 **A2** 想起 カテゴリーズ

日明貿易で日本は、銅・刀・硫黄・扇などを輸出し、銅銭・絹織物・生糸・陶磁器などを輸入しました。

問11 **A1** 想起

足利義満が始めた明との貿易は、明が貿易を統制しこの頃猛威を振るっていた倭寇と区別するために、室町幕府に渡した勘合を用いて行われたので、この名があります。

問12 **A2** 想起 比較・対照

縄文時代の土器には、縄目の文様があるものが多く見られます。弥生時代の土器に比べて厚く、また低い温度で焼かれているため、こわれやすいという特徴があります。

問13 **A1** 想起

吉野ヶ里遺跡は弥生時代の遺跡で、周囲を濠に囲まれ物見櫓が設けられていること、争いの犠牲者が納められた甕棺などが

出土していることから、クニ同士の戦いが起こったと推測されています。板付遺跡は福岡県にある縄文時代から弥生時代にかけての遺跡で、水田跡などが出土しています。三内丸山遺跡は青森県にある縄文時代の遺跡で、計画的なむらづくりや栗の栽培跡などが見られます。登呂遺跡は静岡県にある弥生時代の遺跡で、水田跡などが出土しています。

③ 内閣に関する問題

問1 **A1** 想起

日本国憲法（以下憲法）第66条で、内閣は、行政権の行使について、国会に対して連帯して責任を負うことが定められています。国会の信任のもとに内閣がつくられるしくみとなっていて、これが議院内閣制です。

問2 **A1** 想起

職業軍人でない人を文民といい、国務大臣は文民でなければならないと定められています。日本の内閣の解釈では現職の自衛官以外の人とされていますが、過去に職業軍人であった人は、文民ではないという意見もあります。

問3 **A1** 想起

憲法第68条で内閣総理大臣は、国務大臣の過半数を国会議員の中から選ばなければならないことが定められています。

問4 **A1** 想起

最高裁判所の長官は内閣の指名に基づいて天皇が任命します。

問5 **A2** 想起 比較・対照

内閣が意思決定を行うための非公開の会議を閣議といい、内閣総理大臣が主宰します。

問6 **A1** 想起

内閣が憲法及び法律の規定を実施するために制定できるのは政令です。政令や条例

はいずれも法律の範囲内でのみ制定することが認められています。

問7

(1) **A1 想起**

(2) **A2 想起 比較・対照**

内閣が総辞職しなければならない時には、憲法第69条、第70条で定められています。エについては憲法で定められていません。

問8

(1) **A1 想起**

総務省は地方公共団体との連絡、公務員制度、消防・防災、郵政、放送や情報・通信に関する仕事などを行っています。法務省は法律を守る仕事など、外務省は外国との交渉や国際連合関係の仕事など、財務省は財政・金融などの仕事を行っています。

(2) **A1 想起**

会計検査院は国の予算が正しく使われているかを検査する機関で、国家公務員の人事行政を行う行政委員会である人事院とともに中立と公正が必要とされるため、内閣から独立した地位におかれています。

問9 **A2 想起 カテゴリー**

国家公務員には他に内閣総理大臣・国務大臣・省庁職員など、地方公務員には都道府県職員、市町村職員などがあてはまります。

④ 憲法に関する問題

問1 **A1 想起**

憲法の三大原則は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義です。

問2 **A1 想起**

憲法では天皇は国民統合の象徴とされましたが、象徴とは抽象的なものを具体的なもので表すことです。

問3 **A2 想起 カテゴリー**

国事行為の内容は憲法第7条などに定められています。

問4 **A1 想起**

天皇の国事行為については憲法第3条で、「天皇の国事に関するすべての行為には、内閣の助言と承認を必要とし、内閣が、その責任を負う。」と定められています。

問5 **A1 想起**

憲法第14条により、あらゆる差別は禁止されていますが、合理的理由のある区別は認められるとされています。

問6 **B1 想起 変換 カテゴリー**

自由権には身体的自由、精神の自由（表現の自由、信教の自由など）、経済活動の自由（居住・移転・職業選択の自由など）がありますが、公共の福祉の観点から制限されることが認められることもあります。イについては認められていません。

問7 **A1 想起**

生存権は社会権に含まれる権利で、社会権には他に教育を受ける権利や労働基本権が含まれます。生存権とは人間らしい生活を営む権利のことです。

問8 **A1 想起**

労働基準法は労働三法のひとつで1947年に制定されました。労働時間や年少者の深夜就業禁止など、労働条件の最低基準が規定されています。

問9 **A2 想起 比較・対照**

憲法では国民の義務として、子どもに普通教育を受けさせる義務が第26条、勤労の義務が第27条、納税の義務が第30条でそれぞれ定められています。大日本帝国憲法では第20条で兵役の義務が、第21条で納税の義務が定められていました。

問10 **A1 想起**

内閣総理大臣の指名、法律の制定（これは再議決を必要とします）、予算の議決、

条約の承認については、憲法第67条で衆議院の優越が認められています。また衆議院には、予算の先議権と内閣不信任の決議をすることが認められています。衆議院の優越が認められる理由は、衆議院の方が参議院よりも任期が短く解散もあるため、国民の意思をより反映している、と考えられているからです。一方憲法改正の発議、弾劾裁判所の設置、国政調査権の行使などについては衆議院の優越はありません。

問11 A1 想起

憲法改正に必要な発議は、憲法第96条で、各議院の総議員の3分の2以上の賛成でできることになっています。国会で発議されたあと国民投票によって過半数の国民の承認を得ることが必要です。

問12 A1 想起

国民投票の投票権年齢は現在満18歳以上の男女となっています。これにともない選挙権の年齢も満18歳以上の男女に引き下げられました。

問13

(1) (3) B1 想起 変換

(2) A1 想起

憲法は制定から70年以上経ちましたが、一度も改正が行われていません。その間社会には様々な変化が生まれてきたため、憲法に書かれていない新しい権利が認められるようになってきています。(1)の環境権の中の日照権、(2)の知る権利、(3)のプライバシーの権利、生き方を自分で決めることのできる自己決定権などです。

(記述問題の採点について)

- ・解答の字数制限に従っていない場合…不正解
- ・明らかな誤字・脱字がある場合…－1点
- ・文章・文末表現の不備がある場合…－1点

小学6年 理科 — 解答と解説

1

(1)	(2)
A・C・G・F	消化管

(完答) 21

22

(3)			
A	食道 ^{しょくどう}	B	肝臓 ^{かんぞう}
C	胃 ^い		

23

24

25

(3)	
D	すい臓 ^{ぞう}
E	たんのう

26

27

(4)							
①	B	②	C	③	G	④	F
						⑤	B

28

29

30

31

32

(5)
a・b・d

(完答) 33

(6)									
水	に	よ	っ	て	で	ん	ぷ	ん	が
変	化	し	て						
い	な	い	こ	と	を	確	か	め	る
									ため。

34

(7)									
温度が37℃のとき、だ液は					で	ん	ぷ	ん	を
別	の								
も	の	に	変	化	さ	せ	る	。	

35

2

(1)	(2)			
メスシリンダー	色	青	色	イ・カ

36

(完答) 37

(3)	(4)	(5)
11.4 %	E	エ

38

39

40

(6)	(7)	(8)
50 cm ³	3.6 g	8.7 g

41

42

43

3

(1)	(2)	(3)	(4)
カルデラ	ねばりけ	イ	ウ

44

45

46

47

(5)	(6)	(7)	(8)
ウ	ア	エ	イ

48

49

50

51

4

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ウ	イ・ウ・エ	ウ	ウ	エ

52

(完答) 53

54

55

56

(配点)

{

①	(1)～(5)	} 計100点
	各2点×13=26点	
	他各3点×2=6点	
②	各3点×8=24点	
③	各3点×8=24点	
④	各4点×5=20点	

【解 説】

① ヒトの体のつくりについての問題

(1) A2 知識 抽出

人が口から食べた物は、食道、胃、小腸、大腸の順に通過するときに消化吸収され、残った物がこう門から排出されます。

(2) A1 知識

(1)の答えとなった食べた物の通り道をまとめて『消化管』とよんでいます。

(3) A1 知識

図1において、Aは食道、Bは肝臓、Cは胃、Dはすい臓、Eはたんのうにあたります。肝臓・たんのう・すい臓の中を食べた物が直接通過することはありませんが、どれも食べた物の消化に重要な役割を持った器官です。

(4) A2 知識 抽出

肝臓では、小腸から吸収した養分を一時的にためておいたり、血液中にふくまれる有毒な物質を分解したり(これを解毒作用といいます)、たん汁を作ったりしています。食べた物にふくまれるタンパク質を最初に消化しているのは、胃の内部から出る胃液です。小腸では、腸液を出して食べた物を最終的に消化したり、じゅう毛とよばれる表面積の大きな部分から、水とともに消化された養分を吸収したりしています。大腸では、小腸で吸収されて残ったものの中から水分を吸収して便を作っています。

(5) B1 比較 根拠

ヒトのだ液にふくまれる消化酵素には、でんぷん(炭水化物)をばくが糖に変化させるはたらきがあります。しかし、この消化酵素は体温に近い温度でないとはたらかな

い性質があるため、でんぷんにだ液を加えた試験管aや試験管dは、水しか加えていない試験管bと同様に、でんぷんが変化することなくそのまま残っています。したがって、でんぷんと反応して青むらさき色に変化するヨウ素液を加えて、色が変わったものはa・b・dの3つになります。

(6) B2 抽出 根拠 具体

試験管cはでんぷんにだ液が加えられていて、温度もヒトの体温に近い37℃となっているため、でんぷんがだ液によって変化していますが、温度が37℃であれば、だ液がふくまれていなくてもでんぷんが変化させられる可能性を考えて、試験管cと同じ温度で加えるものを水にした試験管bでも実験して、でんぷんを変化させるにはだ液が必要であることを確かめておく必要があります。

(7) B2 比較 根拠 具体

試験管a～dの実験と考えられる実験結果から、温度が体温に近い37℃のときに、でんぷんがだ液のはたらきによって別の物質へと変化していることがわかります。このとき、今回の実験だけではでんぷんが何に変化したかまではわからないため、でんぷんがばくが糖に変化したと答えるのは誤りです。

② 中和反応についての問題

(1) A1 知識

図1に描かれているような、液体の体積をはかるための器具を『メスシリンダー』とよんでいます。

(2) **A2** **知識** **分類**

BTB溶液を水溶液に数滴加えると、酸性のときに黄色、中性のときに緑色、アルカリ性のときに青色となります。塩酸を加えていないビーカーAの中には、アルカリ性の水酸化ナトリウム水溶液が入っているため、BTB溶液を加えると青色になります。また、石灰水やアンモニア水もアルカリ性の水溶液なので、BTB溶液を数滴加えると青色になります。

(3) **B1** 抽出 变换

図2のグラフを見ると、水酸化ナトリウム水溶液が30cm³入っているビーカーAを加熱して水を完全に蒸発させると、水酸化ナトリウムの固体が3.6g残ったとわかります。また、この実験で用いた水酸化ナトリウム水溶液1cm³の重さは1.05gになることがわかっているので、30cm³の水酸化ナトリウム水溶液は、 $30 \times 1.05 = 31.5$ (g) になります。したがって、31.5gの水溶液中に3.6gの水酸化ナトリウムがとけている水酸化ナトリウム水溶液の濃さは、 $\frac{3.6}{31.5} \times 100 = 11.42 \cdots = 11.4$ (%) と求められます。

(4) **B1** 抽出 根拠

30cm³の水酸化ナトリウム水溶液に加える塩酸の量を5cm³ずつ増やしたとき、加熱後に残った固体が0.45gずつ規則正しく増加していて、塩酸を20cm³加えたビーカーEより先は残った固体が5.4gのまま変化しなくなっています。このことから、30cm³の水酸化ナトリウム水溶液に20cm³の塩酸を加えたときにどちらもあまることなく反応していることがわかります。

(5) **B1** 知識 根拠

30cm³の水酸化ナトリウム水溶液に塩酸を5cm³しか加えなかったビーカーBは、水酸化ナトリウム水溶液があまった状態になっているため、これを加熱して水を完全に蒸発させると、水酸化ナトリウム水溶液と塩酸が反応することによってできる食塩と水酸化ナトリウムといった2種類の固体が残ります。

(6) **B1 抽出 変換**

(4) で、 30cm^3 の水酸化ナトリウム水溶液と 20cm^3 の塩酸を加えたときに、どちらもあまることなく反応することがわかってるので、 $75 \div 30 = 2.5$ (倍)の量となる水酸化ナトリウム水溶液には、 $20 \times 2.5 = \underline{50}$ (cm^3) の塩酸を加えればよいとわかります。

(7) **B1 根拠 変換**

$20 \div 30 = \frac{2}{3}$ (倍)の量となる 20cm^3 の水酸化ナトリウム水溶液には、 $20 \times \frac{2}{3} = 13.3\cdots$ (cm^3) の塩酸しか反応しないため、加熱して残る食塩の量も、 $5.4 \times \frac{2}{3} = \underline{3.6}$ (g) になります。このとき、 16.7cm^3 ほどの塩酸が反応せずにあまっていますが、塩酸は気体の塩化水素がとけた水溶液なので、加熱すると水蒸気とともに蒸発してしまうため、残る固体は食塩だけになります。

(8) **B1 根拠 変換**

30cm³の塩酸は、 $30 \times \frac{30}{20} = 45$ (cm³) の水酸化ナトリウム水溶液と反応します。このように1.5倍ずつの水溶液をまぜると、できる食塩の量も1.5倍の、 $5.4 \times 1.5 = 8.1$ (g) になります。また、30cm³の水酸化ナトリウム水溶液中には3.6gの水酸化ナトリウムがとけていたので、反応せずにあまった

5cm³の水酸化ナトリウム水溶液を加熱すると、 $3.6 \times \frac{5}{30} = 0.6$ (g)の水酸化ナトリウムが残ります。これらのことから、50cm³の水酸化ナトリウム水溶液と30cm³の塩酸を混ぜた液を加熱して残る固体は、 $8.1 + 0.6 = 8.7$ (g)と求められます。

③ 火山のふん火と火成岩についての問題

(1) A2 知識 抽出

活火山の中には、マグマだまりとよばれるマグマのたまっている場所があり、ここにたまったマグマの圧力が高くなると火口から出てきます。ふん火が終わってマグマだまりが空どうになると、火口がそこにしずみこんで山頂付近に大きくくぼんだ地形ができます。このようにしてできたくぼ地をカルデラとよんでいます。日本では、阿蘇カルデラや箱根カルデラなどが有名です。

(2) A2 抽出 根拠

マグマにふくまれる成分(鉱物)のちがいによってマグマのねばりけが変化します。ねばりけの強いマグマには、ガラスの材料にもなっている二酸化ケイ素が多くふくまれています。

(3) A2 知識 比較

現在火山活動を行なっている火山および、過去1万年以内にふん火したことのあつる火山を活火山といいます。日本にはおよそ110個の活火山があり、ふん火に備えていろいろなかん視活動が続けられています。

(4) A2 知識 比較

三原山や、2018年にふん火したハワイ

のキラウエア山などは、ねばりけの弱いマグマが火口から流れ出したため、ふん火口近くにはとどまらずに、より広い範囲に溶岩が散らばってから固まるため、ウのようななだらかな形の火山となります。

(5) A2 知識 比較

火山のふん火によって山の外に流れ出たマグマは、空気によって比較的短時間で冷やされて火山岩となります。このようにしてできた岩石にふくまれるつぶのようすをルーペ(虫めがね)などで見ると、はんしようとよばれる大きなつぶはあまりなく、角ばった細かいつぶがたくさんあります。このことから、答えはウになります。

(6) A2 知識 根拠

ねばりけの弱いマグマには、キ石やカンラン石といった黒色や濃い緑色の鉱物(これらを有色鉱物といいます)が多くふくまれるため、全体的に黒っぽい岩石となります。このような火山岩をげんぶ岩とよんでいます。

(7) A2 知識 比較

火山がふん火すると、火山ガスや火山灰、火山弾などといったさまざまな火山ふん出物が出てきます。火山ガスには、二酸化いおうやりゅう化水素といった有毒なものもふくまれますが、最も多くふくまれているのは水蒸気です。

(8) A2 知識 比較

2018年3月には、宮崎県と鹿児島県のさかい目付近にある霧島連山の新燃岳が大きなふん火を起こしました。この場所は、地図上においてイのあたりになります。

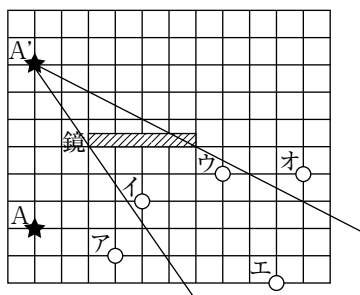
4 光の進み方についての問題

(1) A1 知識

空气中を進んでいた光が、ガラスや水といった光の進みにくい物質へと入るとき、その境界面から離れるように(より垂直になるように)折れ曲がって進むようになるため、答えはウになります。このように、光が異なる物質へと入るとき、その境界面で折れ曲がる現象を光の屈折^{くっせつ}といいます。

(2) B1 根拠 抽出

右図のように、鏡を軸としてAと線対称となる位置をA'とします。物体の方から鏡で反射



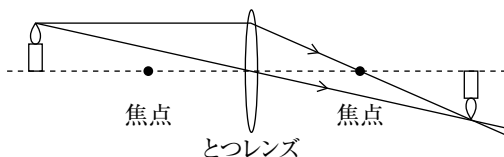
したAを見たときは、鏡の中のA'の位置にAがいるように見えるため、A'と鏡の両はしを通る直線にかこまれた中にある、イ・ウ・エの3つが鏡で反射して見える物体になります。

(3) A1 知識

ろうそくの炎から出た光のうち、とつレンズを通過したものは屈折して進むようになり、この通過した光が1点に集まる場所にスクリーンを置くとろうそくの像がうつります。次の図1は、ろうそくの炎から出た光のうち、とつレンズの中心を通して進む光と、光軸と平行な光がとつレンズで屈折して焦点を通るように進む光が交わり、ろうそくの像ができるようすを描いています。この図でもわかるように、とつレンズ

を通った光は途中で交差してから像を結んでいるので、できた像は上下も左右も逆になります。

図1



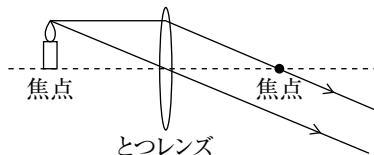
(4) B1 根拠 比較

とつレンズの上半分を黒い紙でおおって光が通過できなくなっても、とつレンズの下半分で屈折した光が像を結ぶため、ろうそくの形が半分に切れたような像になることはありませんが、光の量が半分になるので暗い像になります。

(5) B1 根拠 比較

ろうそくを焦点距離となる場所に置くと、次の図2のようにとつレンズを通過した後の光がすべて平行になって進むようになるため、どこにスクリーンをおいても像を結ぶことがありません。

図2



(記述問題の採点について)

- ・解答の字数制限にしたがっていない場合…不正解
- ・明らかな誤字・脱字がある場合…-1点
- ・文章表現の不備がある場合…-1点

小学六年 国語 解答と解説

1

問一	ウ	21
問二	涙	22
問三	1	
	A	
	(B)	
	(C)	
	(D)	
	E	
	2	23
	エ	24

(完 答)

問四	i	25
	オ	
	ii	26
	ア	
	iii	27
	エ	
問五	イ	28

問六

し	い	そ	コ
な	と	う	オ
い	こ	に	ロ
度	ろ	思	ギ
胸	や	っ	を
が	`	て	つ
あ	そ	逃	か
る	れ	が	ま
と	を	し	え
こ	先	て	る
ろ	生	や	の
。	に	る	を
	い	や	か
	い	さ	わ
	訳	し	い

29

2

問一	1	
	オ	34
	2	
	ア	35
	3	
	エ	36
問二	エ	37
	イ	38
問三	ウ	39

問七	⑤	
	イ	30
	⑥	
	ア	31
問八	ウ	32
問九	省	
	吾	
	な	
	ら	
	絶	33

問五	素	
	の	
	自	
	分	
	を	
	出	
	し	
	て	
	み	
	る	
	こと。	40

⑥		⑤		④		③								
①	臨	①	ウ	①	×	①	イ	問八	ウ	問六	a			
62	機	②	イ	②	×	②	カ	問九	よ	B	b			
	②	③	オ	③	○	③	エ	く	わ	B	c			
63	温	④	ア	④	○	④	ア	か	ら	A	d			
	泉	⑤	エ	⑤	×	⑤	ク	問十	ア	B	e			
64	招	61	60	55	56	50	51	問十一	イ	A	41			
	待									問七	自			
④	臓									意識	42			
65	器													
	⑤													
66	喜													
	劇													

(配点)
{ ①〔問四〕各2点、〔問六〕7点、〔問七〕各3点、他各5点 }
{ ②〔問一〕各2点、他各5点 }
{ ③④⑤⑥各2点 }
計150点

【解説】

1 川上健一

主人公の省吾がクラスメイトの麻緒の素直な言動に少しずつ心を開き、飛び込みに挑戦する勇気をもらうまでの様子を、ていねいに読み取りましょう。

問一

B1 具体化

吉田川の様子は「盛り上がるように深い緑色」「何ともいえないきれいな緑」と表現されていますが、省吾にとっては「あの深い緑の中に吸い込まれてしまうと、大きな渦の中に引きずり込まれてしまって、永遠に出てこれられないような気が」するものであり、省吾は川の自然の豊かさや美しさよりも、その迫力に圧倒されていることが読み取れます。

問二

B1 具体化

「雨も降らぬに 袖しぼる」とは郡上踊りの「かわさき」の歌詞で、(C)の後にある通り、「悲しくて、泣けて泣けてどうしようもない」という気持ちを表しています。着物の袖で涙をふいたため、袖がしぼれるほどぬれてしまったということです。この表現は和歌などにも見られます。

問三

1

B1 比較

(A)から(E)までの部分には、早朝に旧庁舎記念館のそばで見かけた麻緒の描写と、前の年に浴衣姿で踊っていた思い出の中の麻緒の描写が混ざっています。さまざまな時間の描写が登場する物語は読み取り間違いをしやすいので注意

しましょう。

2

B1 理由

この時の気持ちを麻緒は「最後だから、もう一度町をよく見ておこう」と思って歩いてた。さつきちよつと踊っちゃった。今日、町を出ていくからもう最後の踊りだなあと「語っています。それに最も近いものを選びましょう。」

問四

A2 関係

iは元気に明るい合いの手を入れながら踊る去年の麻緒の様子です。直後の「すぐく女つぼくてかつこよかった」という表現に合う言葉を選びましょう。iiはいつもは目立たない麻緒が自分の目まで迫るほどに近づいてきた場面です。このような麻緒の様子を見た省吾の気持ちを考えましょう。iiiは直後の「早くいつてほしかった。」集中したかった」という省吾の心情の描写をもとに考えましょう。

問五

B1 具体化

省吾が「いいたくないことをいわせた」と考えたのは、直前の麻緒の「ううん。新聞配達の帰り」という言葉がきっかけとなっています。彼は麻緒に、家計を助けるためにしている新聞配達のことをいわせるべきではなかったと考えたのでしよう。

問六

B2 具体化 筋道

「省吾のことが好きやったんやあ」と言われておどろいた省吾は「あ、何で……」と問い、麻緒は「やさしいから」と

答えます。しかしこれだけでは字数を満たしません。そのあとのコオロギの話を読み、「やさしいなあって好きになったんやあ。それに先生にいい訳しないのも、すぐ度胸があるなあって好きになった」などの麻緒の言葉を整理します。①コオロギをつかまえるのをかわいそうに思って逃がしてやるやさしさと、②それを先生にいい訳しない度胸、それらを「〜ところ。」という表現でまとめましょう。

※ 設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点3点とします。

問七

A1 知識

「すこむ」は相手をおどすような態度をとることです。「やおら」はゆっくりとおもむろに動く様子を表す言葉ですが、物事の急な様子を表す言葉と間違えられることが多いので注意しましょう。

問八

B1 理由

覚悟を決められなかった省吾の気持ちが変わったのは「でも省吾なら絶対に飛べる。ほしたら私も力をもらえる気がする」と麻緒に言われたときでした。その言葉の後に「麻緒の静かな笑顔を見ていたら〜深呼吸と一緒に恐怖を吐き出してしまった気分だった」とあり、ここで彼の恐怖心がなくなったことがわかります。麻緒の言葉が支えになり、自信を持つことができたのです。

問九

B1 具体化

「水の中にいた」とは、省吾が川に飛び込むことができたということを表しています。つまり「でも省吾なら絶対に飛べる」と麻緒が言った通りになったということです。字数に気を付けてぬき出しましょう。

2

榎本博明の『対人不安』って何だろう? から出題しました。

人の目を気にして不安になる気持ちは誰もが持っているものであるということ、そしてそのような不安をどうしたら乗り越えられるのかということが述べられています。

問一

A2 関係

文を接続する言葉は、前後の文の関係をよく確認して入れましょう。《1》の前後は逆接の関係、《2》の前後は順接の関係、《3》の前後は対比・選択の関係になっています。

問二

B1 理由

①の三つ後の段落には「たしかに友だちのことが気になるのは事実だろうが、友だちの目に映る自分の姿が気になるのであって、友だちのことが気になっているのではない」と書かれています。

問三

B1 具体化

②は前の段落の「こちらがするように気をつかっている」様子の例です。ここまでの本文の流れから、相手に対して「気をつかっている」とは実は相手が自分のことをどう思っ

ているのが気になっているのにすぎないということがわかります。

問四

B1 抽象化

③の後の部分には、「好意的な態度を示したり、楽しそうな様子を見せたりする」と逆の内容が「素を出さずに着飾ったよそ行きの自分」「ウケ狙いの言葉^{ねら}を発するだけで、ほんとうに気になっていることを話せない」「背伸び」などの表現で書かれています。これらの態度を取り続けると、「ほんとうに親しい友だち関係にはなれない」「疲れる」と筆者は述べています。つまり逆に考えると、ありのままの自分をさらけだした付き合い方をしていれば、リラックスした親しい友だち関係を築けるということです。

問五

B1 置換

本文において「自己開示」と呼ばれる行動については③の段落からさまざまな表現で説明されていますが、十字で述べられているのは④の次の段落です。「その不安を和らげてあげるために思い切って自己開示を試みる。素の自分を出してみる」と、自己開示を言い換える形で書かれています。

問六

B1 比較 関係

【a】の前の段落では、対人不安の強い人は、相手のことを過度に気にしているようであり、「じつは自分のことしか眼中になかったりする」と述べられています。【a】から【e】の含まれる段落は、そのことを別の表現であらわした文章になっています。よく見直して、逆の意味にならないよ

うに気を付けましょう。

問七

B1 具体化

⑤の後に続く靴の話は、客観的な事実として靴を間違^{まちが}っていたとしても、意識しなければ特に動揺^{どうよう}しないのだということとを述べ、「対人不安」がどのようなものであるかを具体的に示しています。この例の最後で筆者は「気持ちが悪く揺るかどうかは自意識しだいなのである。ましてや対人不安のよ

問八

A2 知識

「ばつが悪い」は、ある場での、周りの人に対する具合が悪いことを表す言葉です。「座りが悪い」は置かれたものががたがたして安定しない様子を表します。「間が悪い」はタイミングの悪さを表します。「きれが悪い」は頭脳の働きや技術がさえない様子を表します。

問九

B1 理由

自己注視が強いと、他人を前にしても相手に自分がどのようになっているかということばかりが気になってしまいうことが「対人不安の強い人は……」以降の部分で述べられています。しかし⑦の次の段落にある通り、相手の「気持ちを察すること」で「気持ちの交流がも」てるようになると、相手が何を考えているのかがわかり、不安に思わなくなるのです。それらをまとめているのが、さらに次の段落の「よく

わからない相手を目の前にすると不安になるが、理解が深まると安心してかわれるようになる」です。

問十

B 1 具体化

「相手そのものを見ようとすること」が具体的に書かれているのは⑦の次の段落の「そこで大事なことは……」です。この段落の内容に最も近いのはアです。

問十一

B 1 比較

選択肢アは「気にすべきではない」が誤りです。ウは「いかに乗りこえるかが……」が誤りです。エは「相手の気持ちよりも自分がどうありたいかということばかり……」という内容が本文にありません。正解のイは、「『自分なんか面白い人間じゃ……』からの七段落分の内容と合っています。

4

A 1 知識

①は話題になっているのが校長先生なので、謙譲語の「おりますか」ではなく尊敬語の「いらっしゃいますか」が正しい表現です。

②は話している相手ではなく雨に敬意を表現していることになってしまふ点が誤りです。この場合は「外は雨が降っていましたか」でよいでしょう。

③は食べる人への敬意を表す尊敬語の「召し上がる」が使われているので正しい表現（○）です。

④は「訪問する」という意味の謙譲語の「うかがう」が使われているので正しい表現（○）です。

⑤は評判を聞いているのが自分なので、尊敬語の「お聞き

す。になって」ではなく謙譲語の「うかがって」が正しい表現です。